

ふくしまオーガニック通信

～オーガニック・ランドふくしまをつくろう～

No. 27- 4

平成 28 年 1 月 18 日

農業総合センター有機農業推進室
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/nougyou-centre/index.htm>

TEL 024-958-1711

FAX 024-958-1730

Facebook 「オーガニックランドふくしま」



「丸の内行幸マルシェ×青空市場」へ出店

会津農林事務所農業振興普及部

平成27年11月27日、東京都駅丸の内地下通路、通称行幸通りで開催された「丸の内行幸マルシェ×青空市場」に会津地域の有機農業者組織「会津自然塾」と「(有)すとう農産」が出店し、有機農産物のPR・販売を行いました。

今回の出店は、前週11月20日（金）に行われた、福島県産農産物の魅力を首都圏の消費者に伝えるイベント「チャレンジ！おいしいふくしまIN丸の内」の一環として、参加していただいたものです。

同マルシェは、俳優の永島敏行氏が主催する「丸の内行幸マルシェ実行委員会」が主体となり毎週金曜日に開催され、常連の出店者が多いこともあり、買い物客がなじみの出店者を回る風景が多数見受けられました。

また、周りがビジネス街のため、当日はおお客様の立ち寄る時間が、昼時と夕方に集中するなど平日開催マルシェ特有の光景となりました。

今回、「会津自然塾」、「すとう農産」とも初めての出店のため、集客の点でやや苦勞した感がありました。持ち込んだ有機農産物の中では、お米等の販売数量は伸び悩んだものの、野菜や果物（身不知柿）などは大好評でほぼ完売しました。



すとう農産さん



会津自然塾さん

地域一体となった有機農業推進の取組み

～今治市有機農業推進協議会（愛媛県今治市）～

農業総合センター有機農業推進室

愛媛県今治市では有機農業を推進しており、行政やJAをはじめ、生産者や消費者も構成員とする「今治市有機農業推進協議会」を設立して様々な活動をされています。今回、今治市で直接お話を伺う機会がありましたので、取組内容の一部を紹介させていただきます。

（１）これまでの経過

今治市は、30年前の消費者運動や農民運動に端を発し、行政主導ではなく市民の取組みとして「食と農のまちづくり」が進められてきました。この中で、有機農業や学校給食での地元農産物の利用が一体的に取り組みられてきました。

今治市の農業は、柑橘類が主であり、水田や畑の条件が均一でなく、ロットの大きさを求める農業が難しかったこともあり、安全・安心の農業に取り組む意識が早くからあったそうです。

このような環境の中、昭和63年には、市民に安定して安全な食糧を供給するための「食料の安全性と安定供給体制を確立する都市宣言」が議決、平成18年には有機農業の推進が盛り込まれた「今治市食と農のまちづくり条例」が制定されました。

また、平成20年には有機農業の推進主体となる「今治市有機農業推進協議会」が設立されました。

（２）有機農業推進協議会について

設 立：平成20年（事務局：市農林振興課内）

構成員：農業者、団体、JA、県、消費者

事 業：国の補助事業等を活用して有機農業推進に関する各種事業を実施（技術マニュアルの作成、有機農産物販売促進、市民や直売所等への意向調査の実施、就農相談対応 等）

（３）協議会における主な事業

ア 有機農業の人材育成

- ① 普及員や市職員、JA等の指導員向けの講習会の開催
- ② 有機推進員の設置（農家に委嘱）
- ③ 研修受入農家への助成（2万円／月 最長1年分）
- ④ 新たな有機栽培者の掘り起こしのため、直売所出荷者へのアンケート調査

イ 技術向上支援

- ① 有機農業実践講座の開催
月2回、年間24回の講座（講義と実習が半々）、年間10名程度受講
- ② 「今治有機農業マニュアル」の作成
主要の数品目を中心にマニュアルを作成。

ウ 市民の有機農業への理解促進

- ① 有機農業の市民農園の開設
（有機栽培でのみ栽培する）
- ② 小学校の学校農園での有機JAS取得
（4校で取得）
- ③ 市民へのアンケート調査

エ 有機農産物の販売促進

県が主催するPRイベントへや、JAまつり・産業まつり等へのブース出展など



市民農園の様子

(4) 生産振興の支援

ア 産地づくり交付金による直接支払い

産地づくり交付金を活用した直接支払いを実施（H16～27年）

有機農業の取組みには2万円/10aを交付

イ 地産地消推進事業（市単独事業）による支援

① 有機農業に必要な機械等を整備するグループに対し、導入経費の1/3を助成

② 有機JAS認定手数料を助成（5万円/人上限、3年以内）

(5) 学校給食での有機農産物の利用

市内22の給食調理場で44の学校に年間13,000食を供給。今治市産の野菜の使用割合は約7割を占める。

このうち、有機農産物は小学校3校（1,300食分）で使用している。

JAの有機農業研究会の農産物をJAを通じて調理場に納入。価格は市場出荷の単価の高値近辺の額で契約。



J Aの直売所では有機農産物のコーナーを設置

鎌倉屋と福島県有機農業ネットワークの取組紹介

農業総合センター有機農業推進室

スーパーマーケットの鎌倉屋では、平成26年からNPO法人福島県有機農業ネットワークの会員が生産した有機農産物の取り扱いを全店舗で始めました。鎌倉屋の芝田机太郎社長が、「地元の有機農産物を取り扱いたい」と思ったことがきっかけとのことです。

店舗の状況や野菜の栽培状況にもよりますが、多いときで週に3回、有機野菜を納品しています

その中でも、二本松店では消費者交流にも力を入れており、その一環として有機農業ネットワークと連携し、店舗前の花壇を活用して野菜を栽培する「有機ネットやさい塾」を実施しています。花壇には元々木が植えてありましたが、鎌倉屋の芝田社長が花壇をうまく活用出来ないかと思い、検討した結果、「有機ネットやさい塾」が始められたとのことです。



有機ネットやさい塾の看板

二本松市内の有機農家の方が講師となり、5月には野菜の苗を定植、7月には収穫体験を行いました。参加者は、野菜の栽培について一緒に作業しながら教わり、収穫した新鮮な野菜をそのまま食べたり、その場で焼いて食べたりして味わい、好評だったそうです。

また、11月には、収穫した野菜を使って芋煮会を開催しました。「野菜の出来る過程を毎日の生活の中で自然に見ながら、その野菜の旬や美味しさを学べる良い機会だった」と、有機ネットやさい塾の参加者からは大盛況でした。

「今度も5月頃からやさい塾を開催する」とのことです。これからも、消費者との交流を通じた有機農産物の普及が進んでいけばと思います。



「有機ネットやさい塾」の様子



『鎌倉屋二本松店』
二本松市油井字鶴巻50-3
TEL：0243-22-6456
営業時間：9時00分～21時00分
<http://kamakuraya.co.jp/>

産業労使『秋祭り』会場で有機農産物を販売

～ オーガニックふくしま安達と会津自然塾が参加 ～

農業総合センター有機農業推進室 会津農林事務所農業振興普及部

11月10日（火）18時から、東京都千代田区のホテル「グランドパレス」で、産業労使『秋祭り』が開催され、会場の中で有機農産物の販売を行いました。

二本松市の「オーガニックふくしま安達」と会津美里町の「会津自然塾」の2つの団体が出展し、様々な有機野菜やみしらず柿、瓶詰めのソースや自家製味噌等を販売しました。

また、オーガニックふくしま安達の武藤さんと会津自然塾理事長の鹿野さんは、福島県農業の現状や有機農産物についてスピーチし、会場に来ていたお客様達に福島県の農産物をPRしていました。



『会津自然塾』の販売風景



『オーガニックふくしま安達』



販売ブースの様子

会津方部で有機農業研修会を開催

会津農林事務所農業振興普及部

12月15日（火）、平成27年度会津方部有機農業研修会をハイテクプラザ会津技術支援センター多目的ホールで開催しました。

当日は、有機農業に関わる農業者や関係者等50名が出席しました。

研修は、東京大学大学院農学生命科学科の二瓶直登准教授より、「作物の有機態窒素吸収とその利用について」と題した講演を行っていただきました。

作物はアミノ酸を直接取り込んでいることや、アミノ酸の効果としては主に地下部・根量が増加すること、作物の種類によって生育を増進するアミノ酸の種類が異なることなどを動画や写真等を交え、わかりやすく説明していただきました。

参加者からは、有機質肥料に含まれるアミノ酸による施肥量の削減効果や、アミノ酸を多く含む肥料に対する質問や意見が出され、盛況な研修会となりました。



質問する参加者



講演する二瓶准教授

《研修会等のお知らせ》

有機農業ステップアップ研修（第5回 販路・売り場づくり）の開催

近年、温泉旅館で地元野菜を使用したり、有機農産物による魅力ある売り場づくりに取り組む直売所やスーパーが出てきています。その事例研修を通じて、販路拡大と生産振興を目指す研修会を実施します。

- 日時：平成28年1月28日（木）13:00～15:00
- 場所：福島県農業総合センター 多目的ホール
- 内容

- I 講演：温泉旅館と良いものの作り手をつなぐ取組み
講師：特定非営利活動法人素材広場 理事長 横田純子氏
- II 事例研修
 - ① 宿泊客への有機野菜メニューの提供
会津芦ノ牧温泉大川荘 総支配人 渡邊幸嗣氏
 - ② 道の駅における有機農産物コーナーの設置
道の駅あいづ 湯川・会津坂下 大竹達也氏

研修会についての申込み、問い合わせは
有機農業推進室：024-958-1711までお願いします。

平成28年度環境と共生する農業推進研修会の開催

健全な土づくりと有機性資源の循環利用の再構築を図るためには、有機性資源の活用とともに取り組む環境と共生する農業の取組を見直し、普及拡大を図る必要があります。そこで、土づくりや堆肥等有機性資源の活用および環境保全型農業に係る技術への理解を深めるため、研修会を開催します。

- 日時：平成28年2月15日（月）13:15～
- 場所：福島県農業総合センター 多目的ホール
- 内容

- I 講演：「環境保全型農業における基本技術と効果について」（90分）
講師：東北農業研究センター農業研究領域 上席研究員 太田 健 氏
講演内容
堆肥等有機性資源を活用した土づくりや堆肥施用と放射線量の調査報告、
緑肥作物栽培など環境保全型農業に活用できる各種技術の紹介
- II 事例報告：「牛ふんたい肥利活用の取組について」
 - ① 県中農林事務所田村農業普及所 担当
 - ② 県中農林事務所農業振興普及部 担当

研修会についての問い合わせは
環境保全農業課：024-521-7453 までお願いします。

平成27年度第2回福島県有機農産物認定業務講習会の開催

登録認定機関『福島県』から有機JAS認定の取得を希望する方は、この講習会を受講して下さい。また、受講するには事前申し込みが必要です。申込書は、農業総合センターのホームページ (<http://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/nougyou-centre/index.htm>) から入手して下さい。

- 日時：平成28年2月16日（火）9:30～16:30
- 場所：福島県農業総合センター 交流棟 大会議室

ホームページを開けない方や問い合わせのある方は
指導・有機認証課：024-958-1708 まで連絡をお願いします。